

「再評価改善報告書」・「基礎資料」 正誤表

大学名：千葉科学大学薬学部

■再評価改善報告書

	頁	行	誤	正
1	18	6	実務家教員を中心として医療系科目教員を	実務家教員を中心 <u>に</u> 医療系科目教員を
2	18	10-11	<u>後期</u> の9月下旬から	<u>秋学期</u> の9月下旬から
3	20	23	<u>実務家担当教員</u> を副委員長とし、	<u>実務家教員</u> を副委員長とし、
4	23	8	<u>関東調整機構</u> が直轄する	<u>関東地区調整機構</u> が直轄する
5	23	10-13	筑波大学 <u>医学部付属</u> 病院、信州大学医学部 <u>付属</u> 病院、群馬大学医学部 <u>付属</u> 病院、千葉大学医学部 <u>付属</u> 病院、千葉県立佐原病院、千葉県済生会習志野病院、東千葉メディカルセンター、成田赤十字病院、 <u>国保旭中央</u> 病院、亀田総合病院、JCHO 千葉病院、神栖済生会病院	筑波大学 <u>附属</u> 病院、信州大学医学部 <u>附属</u> 病院、群馬大学医学部 <u>附属</u> 病院、千葉大学医学部 <u>附属</u> 病院、千葉県立佐原病院、千葉県済生会習志野病院、東千葉メディカルセンター、成田赤十字病院、 <u>総合病院国保旭中央</u> 病院、亀田総合病院、JCHO 千葉病院、神栖済生会病院
6	23	14	本学の契約 <u>病院</u> （すべて <u>関東調整機構</u> 管轄）で行う。	本学の契約 <u>薬局</u> （すべて <u>関東地区調整機構</u> 管轄）で行う。
7	26	29	添付資料 25 学生の成長度の測定評価表 <u>薬局</u>	添付資料 25 学生の成長度の測定評価表 <u>薬局</u>
8	31	1	など項目について、	など <u>の</u> 項目について、
9	31	4	出席する。 <u>発表会にはポスターの他に</u> 、発表会での	出席する。発表会での
10	31	6	卒業論文要旨（A4一枚）を <u>提出され</u> 、	卒業論文要旨（A4一枚）を <u>提出し</u> 、
11	32	14	<u>15コマ2単位</u> の講義のなかで1コマ程度	<u>2単位 15コマ</u> の講義のなかで1コマ程度
12	43	21	<u>ダウンロード</u> するように	<u>ダウンロード</u> するように

	頁	行	誤	正
13	47	3	チューター（所属研究室教員）が <u>前期</u> 開始後の早い時期に	チューター（所属研究室教員）が <u>春学期</u> 開始後の早い時期に
14	47	25	卒業研究発表会についても <u>2013 年</u> <u>度</u> 以降、	卒業研究発表会についても <u>平成 25</u> <u>年度</u> 以降、
15	48	2	<u>2014</u> 学生便覧	<u>2014 年度</u> 学生便覧
16	48	11	対象学生成績の向上を	対象学生 <u>の</u> 成績の向上を
17	48	12	<u>2014 年度以降廃止した。</u>	<u>平成 26 年度以降行っていない。</u>
18	49	32	の本評価時の <u>状況には</u> 、	の本評価時の <u>状況は</u> 、
19	55	2	自己点検評価を行うとともに、 <u>企</u> <u>画 IR</u>	自己点検評価を行うとともに、 <u>大</u> <u>学事務局企画室 IR・企画課</u>
20	55	26	教育目標 <u>の</u> 統一した。	教育目標 <u>を</u> 統一した。
21	55	26-27	受験生に <u>わかりやすくやすく</u> 表現 するため、	受験生に <u>わかりやすく</u> 表現するた め、
22	56	33-34	<u>2017</u> 年度の教育目標	<u>平成 29</u> 年度の教育目標
23	57	13	を <u>享受</u> するための	を <u>教授</u> するための
24	58	34	<u>2015</u> 年度入学生より、	<u>平成 27</u> 年度入学生より、
25	61	27	<u>2014</u> 年度から廃止した。	<u>平成 26</u> 年度から廃止した。
26	48～	-	「改善すべき点への対応につ いて」、「助言への対応」の 各項目につ き、本学担当者名が残っていたた め、当該部分を削除	

※行の欄は、見出し等も含め、文字のある行をカウントし記して下さい。

※正誤の該当箇所が分かるよう、アンダーラインを引いてください。

■基礎資料

該当なし